

ることになっていました。何が行われたかは記憶がなく、唯凍える寒さだけが脳裏に残っています。当時は水戸近辺でも池にはスケートができる厚氷が張る寒さでした。

戦時下の日本は毎月8日が「大詔奉戴日」とされ、小学校では校庭に作られた天皇のお写真（御真影と呼んだ）・皇后のお写真と教育勅語を収めてある「奉安殿」の前に全児童が整列して、校長の読み上げる教育勅語と訓話を傾聴しました。

軍事教練もどきの授業もあり、勤労奉仕の授業も行われました。8キロほど南に陸軍通信学校飛行場があり、そこで掘り起こされた松の根っこを一人一個ずつ背負って学校まで運びました。松の根っこから 松根油という油を採って飛行機の燃料を作る計画でしたが、実用までは至らなかったようです。

小学生は全員が下駄ばき、半ズボン、開襟シャツ、女子はモンペ。霜焼け・あかぎれ・鼻水たらしが普通でした。物が無い、捨てることはしない、何かに利用する、創意工夫があったようです。現代のモノ余りの使い捨てる時代に生まれた人た

ちとは、不要になった物をどう活用するかにいささかの感覚の違いがあるようですね。

食糧不足が最も深刻でした。配給のコメは玄米、これを食べやすいように一升瓶に入れて突いて7分米にするのも日課でした。燃料の乏しい時代だから、藁で作った保温器に入れた冷えたイモ飯が常食でした。

8月1日に水戸は大空襲を受け、300人ほどの死者が出ました。

8月15日は暑い日でした。母親が「戦争が終わったようだ」と言ってくれたが、その際どういう感慨を持ったかは記憶にありません。恐らく田舎の小学6年生にとっては、直接関わりの無かったことだったのでしょう。

戦後直ぐに闇市ができ大いににぎわいました。風俗界隈の店には、進駐軍によりVDなるマークが付けられました。

当時に立ち返ってみれば、今の時代感覚とは全く違った活気と緊張感のある、子ども心にも生きるためにそして戦争に勝つために懸命だった時代ですね。

編集後記

長嶋茂雄と大谷翔平・・・

6月3日にミスタープロ野球長嶋茂雄が亡くなった。享年89歳であった。

長嶋がプロ野球「巨人軍」に入団したのが1958年（昭和33年）、私が小学校に上がる1年前、日本の高度成長期の始まり野菜タイミングで家庭に普及し始めた白黒のテレビ画面を通して、野球を夢中になって観戦したものである。子供野球の背番号は「3」を付ける者ばかり、子供達の憧れの存在であり、彼もファンの期待を裏切らずに、守備に、打席にダイナミックなプレーを見せてくれた。

昭和天皇が初めて野球を観覧された「天覧試合」のサヨナラホームランは未だに記憶に残っており、彼のプレーに日本中が沸いた。彼の存在は一野球人を越えた大きな存在であった。

長嶋の存在の大きさを考えると、現代で言えばMLBで活躍する大谷翔平の存在がそれに近く、それ以上になのではとプレーのみならず、その人間性に魅了される人は多いのではなかろうか。子供から年寄りまでテレビの前でプレーを楽しみにしている人は数多くいる。彼の人柄も含めたイメージもよく、CMに多く起用されている。現在は長嶋の時代と比べると難しい時代となっており、暗いニュースも多いが、多くの人を和ませ、勇気付けているのだろう。私も時間があれば彼の試合を楽しみ、彼のプレーを含めた多方面の活躍に期待を寄せる者である。

西瓜朝市ご参加

・お礼とお詫び

西瓜・野菜とも完売・不足となりました。御礼とお詫び申し上げます。当日不足の西瓜については、改めて予約販売をいたしました。

尚、収益金はすべて住民協の活動の資金となり、防災器材の購入等で皆様に還元、お役に立てられます。

住民協関係者一同

事務局長 石井 達郎

久木小学校区住民自治協議会・広報誌

住民協 ひろば

第100号（準備会から通算第121号）

発行日 令和7年年8月2日

発行所 逗子市久木2-1-1

久木小学校区住民自治協議会

発行人 山崎 徳次郎

・・・住民協ひろば 第100号 おめでとうございます・・・

久木小学校区住民自治協議会の広報誌「住民協ひろば」がこの8月号で第100号の発行となりました。

久小学区住民協の設立は今から8年前ですが設立準備委員会の時から「住民協ひろば」は広報誌として既に発行されており、その分が21号ありますので広報誌としては通算121号になると云う事が（準備会から通算第121号）の意味です。

今年度の「住民協ひろば特別号」は久小学区住民協のよって立つ経緯や現状の活動を行政サイドの意向も網羅しつつ、今後の活動方向やあるべき姿などを特集号として編纂したいと思っています。

特集号発行までにはもう少し時間がありますが、どうぞご期待ください。

校区住民協 代表 山崎 徳次郎

・・・ラジオ・・・

校区住民協 理事 瓶子 純一

ラジオを聞いている人はいますか？ 車を運転する人は運転中にラジオを聞くことがあると思います。では自宅で聞く人は？ ある程度の年齢の方ならともかく、今はテレビやネットの動画を見る人が多いのではないのでしょうか。

テレビと違い、ラジオには映像がありません。音だけより映像があった方が面白いです。それも好きな映像を見たいとなれば、Youtube等の動画サービスを見るでしょう。ラジオが取り上げられるのは大災害が起こった時くらいかもしれません。

我が家の台所、食卓にはテレビがありません。朝食のときは必ずラジオをつけています。なぜならテレビだと目で画面を見ないといけません。包丁を使っていたり、火を使っているときに、テレビの画面を見るのは危ないです。その点、ラジオなら作業をしても耳から情報が入ってきます。特に電車や道路の状況を知ることができるのはありがたいです。またさまざまなニュースや話題、さらには時報も知らせてくれます。料理をしながら、食事をしながら情報を得ることができます。テレビの画面を見ながらだと、どうしてもなおざりになってしまいます。

ラジオには映像がない分、想像力をかき立てられます。以前はラジオドラマや朗読といった番組がたくさんあり、録音して聞いていたものでした。これも画面がないので、作業をしながら聞くことができ、想像力が発揮されます。試しに大相撲中継をラジオで聞くと面白いです。制限時間いっぱいになり、場内が静まります。行司の「ハッケヨイ、残った！」の声で歓声があがります。実況アナウンサーの熱のこもった実況にハラハラし、勝負がついたときの大歓声。スゴい取り組みがあったのだと感じます。ところが夜のニュースで映像を見るとただの寄り切りだったりします。映像がない分、想像力で補うのでしょう。

最近、オーディオブックという言葉聞きます。簡単に言えば「朗読」です。プロのアナウンサーたちによる文学作品の朗読を、特に若い人たちが聞いているといひます。毎日、スマホの小さい画面で動画を見て、SNSをチェックし書き込む。これでは目も脳が疲れてしまうのではないのでしょうか？ 映像のない音だけの世界に浸るのはとても楽しいことです。ただ、歩きながらは止めましょう。周りの音が聞こえないと車やバイク、自転車等が近づいてきてもわからず、とても危険です。たまには家でゆっくりと映像のない世界に浸るのも悪くありませんよ。

令和7年7月度役員会

開催日時と場所：2025年7月5日（土）13

出席者：役員：山崎徳次郎、石井達郎、鈴木為之、小林寿志、長嶋啓、新倉洋一、増子俊雄、瓶子純一、河邊寛、大塚邦彦、芹沢ふさ江、森戸久朝

役員外：江渕真紀子、松森豊

議題

(1) 行政からの連絡事項

①下水道料金（返子市都市整備課）の件

下水道使用料の値上げについて説明があった。
(2026年7月より実施 20 m³/月使用家庭で、約33%の値上げ)

パブリックコメントを7/7～8/12まで募集、8/2に市民説明会を市役所で開催する。
また、12月に市議会に提示する予定であることが説明された。

下記のような質疑があった

・Q:基幹インフラの老朽化に伴う刷新なのか
A:長寿命化、耐震化による配管の取り換えなどは国の補助金、市債などで賄う。

物価上昇もあり、維持管理にかかる費用が使用料収入で賄えないことが主たる理由。

・Q:チラシでは施設の老朽化が深刻になっているとの記述と併に、塩ビ管への交換などの写真が掲載されており、インフラ更新が主たる理由であるかに意図されている記載であり、誤解を招く。

A:ごく小規模であれば修理することがある。

Q:どこで線引きされるのかが分かりにくく、費用

(2) 事務局からの報告事項

①7/13日に西瓜市を開催する旨説明があり、周知・協力などが要請された。

下記のような質疑があった。

(3) 審議事項

①「住民協ひろば」100号発行及び「住民協ひろば特別号」の件

「住民協ひろば」は来月100号となるが、特に特集などは組まず、会長の挨拶文を掲載することとする。「住民協ひろば特別号」は久木住民協をより理解してもらう為に、住民協の紹介をする記事とする。また、その際に登録団体との連携の再構築を模索する。

②避難所準備委員会の件

災害時の医療救護所の集約、令和7年防災訓練内容につき説明された。

地区ごとに種目を選定する防災訓練内容については、内容の吟味・準備・手順など十分な議論

時00分～15時15分 久木会館

行政：堀田昌希/地域担当リーダー、小岩井沙絵/
総務課 船田博士、池永優月/都市整備課 以上
19名

の在り方が不透明である。

②国勢調査(返子市総務課)の件

配布資料調査員が不足しており、継続して調査員を募集している旨説明があった。

下記のような質疑があった

・Q:オンライン活用を推進すべきではないのか
A:回答はオンライン、郵送でもOKだが、配布は対面が原則となっている。

③生ごみの収集について

葉山の施設は完成し、葉山では8月から生ごみの収集を始める予定。一方、返子市はいつから開始するかは未定であることが報告された。

④公共交通拡充支援事業について

地域公共交通計画策定業務委託は復建調査㈱に決定した。

9/7に意見聴取会を開催予定で、8月の広報に記載予定。

下記のような意見が出された

・本件には、住民協の代表として長嶋氏が委員として参加登録しているが、会議の開催、業者の選定結果など、委員に連絡がないのは問題である。

・Q:カットした西瓜販売をするのか、手伝いが必要か

A:決定していないので、後日連絡する。

が必要なことが認識された。(福祉避難所との連携、避難所における一次救命処置、携帯トイレ設置訓練、ペットの防災など)

また避難所のトイレ問題など、市への申し入れは回答期限など明確にするよう要請された。

②各部長及び会館長から現況報告

減災福祉部会：6/28日に山の根自治会地区の崖地調査を実施した事が、報告された。

今後久木地区を調査し、全体をレビューしたうえで、市との連携について考察する予定であることが報告された。

企画部会：6月に開催された「みんなのカフェ」に参加したが、若い人が多かった。

それらの若い人に住民協活動への参画を促すこ

とが出来れば、意義深いと感じた。

延べ人数では100名位参加していた。

また、「みんなのカフェ」の収支についても確認された。

④その他

《寄稿》

わからない言葉が出てきた。

今、私もご多分に漏れずスマホで検索してしまう。昔、スマホの無い時代はどうだったのか。

分厚い国語辞典をえっと

〈か行〉の、えっとって調べていた。

スマホだと、調べたい言葉は一発で目に飛び込んてくる。

「傑作」(けっさく) 関連する質問 」傑作だ」とはどういう意味ですか？

「傑作」のいいかえは

「傑作」の使い方は

傑作を知るには何の問題もストレスもない。これがスマホだ。

国語辞書は、こうだ。

〈く〉の次が〈け〉だから、〈けっせき〉でなくてもっと先であ、前だ〈けっし〉。

さらに前だ、〈けっこん〉〈けっさい〉あった、〈けっさく〉

《トピックス》

昭和の記憶：昭和100年の残影 戦時下の児童の思い出

昭和という年号の時代が誕生してから丁度100年になるそうです。この100年は昭和が63年、平成が30年、令和が7年で構成されます。昭和が一番長いですね。昭和20年以降のことは、殆ど全てがオープンで周知されていることと思うので、あまり語られない戦時下、そして敗戦直後の一端を、私の記憶の断片の中から拾い上げてお伝えしておきましょう。あえて断片というのは、何かの事情で特別に記憶に残されたことしか思い出せないからです。

私が小学校に入学したのが昭和15年、ここか

a) 社協からの連絡

7/29に、小坪大谷戸会館で、成年後見制度、日常生活自立支援事業につき講演会があることが紹介された。

国語辞書とスマホ・・・

・・・辞典消えちゃうのかなあ

2025 05 18 駄洒落栖人

①芸術などのすばらしい作品 ②良い出来栄え一つ後はくけっさつ>くけっさん>だ。

前後の言葉が知らず知らずに読めている。

頭に飛び込んでいる。

さて、スマホならズバリ調べたいことが調べられる。

国語辞典だと少しいライラしながら前後が読める。

でも面白い言葉に遭遇したりする。

寄り道できる。

国語辞典は今、小学生は全員持っているのだろうか。

その代わりにタブレットは全員持っていたりして。

国語辞典は売れているのかなあ。

国語辞典は日本の生活、教育から消えてしまうのかなあ。

校区住民協 監事 細野 裕

鈴木 為之（山の根在住）

ら世の中との付き合いが始まったといえるでしょう。入学したのが今の返子小学校、1年間だけ在籍しました。思い出でただ一つ残っているのは、Iという名前の恐ろしく怖い先生がおられたことです。何か悪さといえるようなことをすると、足をもって逆立ちで歩かされました。この程度が普通の置きさだったのでしょ。

昭和16年、開戦を迎えたのは水戸です。実のところ、ラジオや新聞の報道で世間は沸き返りましたね。

12月8日は、早朝に必ず近所の八幡宮に集ま